

## ◇会 告◇

### 令和5（2023）年度研究大会

「ぐんまの飛躍の“糧<sup>かて</sup>=文化財”の活用を考える～地域研究・市民参加・学校教育・観光資源～」

◆趣 旨：長年にわたって多くの研究者によって綴られた群馬県における地域史研究の蓄積は、群馬県地域文化研究協議会の資産の柱の一つとなっている。それを示す昭和59年（1984）発行の『群馬文化』200号で開始して以来、ほぼ4年ごとに進めてきた「群馬県地域史研究の動向」は、令和4年（2022）12月発行の第347号において10回目を迎えた。

この10回目で扱われた平成の終わりから令和の初めにかけては、文化財をとりまく法律が大きく改められた時期に相当する。平成31（2019）年4月改正文化財保護法、令和2年5月文化観光推進法、令和5（2022）年4月改正博物館法の施行といった、文化財の活用と地域振興に向けた法整備が進んだ。その背景には、少子高齢化や過疎化、人口減少社会へと進む日本の現状に対し、文化財を観光振興そして地域振興の柱として評価し活用しようとする、国をあげての方針がある。今後の社会・経済の在り様に影響を及ぼすこうした情勢は、これからの文化財の保護と活用のあり方への見直を迫るものであり、地域の歴史文化を掘り下げ、更なる価値を明らかにする研究に影響を与えるとよい。

本大会では、こうした変革期ともいえる今、地域振興の重要な視点となる「文化財の活用」をとり上げて、研究し、広報し、市民と共に追究し、生徒の学びの素材として提供するなど、様々な立場からその方途を模索し、群馬の飛躍の糧としての文化財のあり方を考えてみたい。

◆日 時：令和6（2024）年2月24日（土） 12:30～16:50（受付12:00～）

◆会 場：共愛学園前橋国際大学5号館5101号教室（群馬県前橋市小屋原町1154-4）

◆主 催：群馬地域文化研究協議会

◆共 催：共愛学園前橋国際大学

◆後 援：群馬県、群馬県教育委員会、（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団、（一財）群馬地域文化振興会、群馬歴史民俗研究会、群馬歴史資料継承ネットワーク（予定）

◆定 員：先着150名（事前予約不要、会員外も参加可）

◆資料代：300円

◆内容・日程：

I 開 会 12:30～12:35 開会挨拶・趣旨説明

II 研究報告 12:35～15:30

(1) 総 論：「文化財活用と地域研究－文化財保護制度の変遷と活用への道筋－」

(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 飯塚 聡 氏

(2) 特 論：「関係人口と共働した地域資源の掘り起こしと活用－岐阜県飛騨市モデルの報告－」

岐阜県飛騨市教育委員会文化振興課 三好 清超 氏

(3) 視点1：「学校教育における文化財の活用－文化財との連携をめざした教育実践－」

群馬県立高崎北高等学校 山田 精一 氏

(4) 視点2：「博物館における文化観光資源としての文化財の活用」

群馬県立歴史博物館 深澤 敦仁 氏

III シンポジウム「これからの文化財の活用を考える」 15:35～16:45

パネラー 飯塚聡氏・三好清超氏・山田精一氏・深澤敦仁氏・中島直樹氏（群馬県玉村町教育委員会）

IV 閉 会 16:45～16:50

【問い合わせ先】 [gunmabunka@gmail.com](mailto:gunmabunka@gmail.com)